

社会文化学科			社会文化学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー(DP)) ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄						
時間割コード	科目名	担当教員	1	2	3	4	5	6	7
			人間と社会に関わる諸問題について、人文・社会諸科学の研究方法に基づいて、論理的に考察することができる。	課題解決に必要な情報を的確に判断し、収集・分析することができる。	自らの考えを、文章や口頭で論理的・効果的に表現することができる。	他者と円滑に対話しなが、現代的な問題解決のために協働し、主体的・積極的に社会に参画することができる。	現代社会で生起する多様な問題に対し、グローバルとローカルそして過去と現在の関係性を意識しつつ、高度な日本語・外国語運用能力をもって取り組むことができる。	現代社会の課題を発見・探究し、人文・社会科学的な学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	人文・社会科学に関する高度な専門性を有しつつ、既存の専門分野の枠組みを超えた先端的な領域に挑戦し続け、実証データに基づく思考力を活かして新たな価値の創造に向かうことができる。
	日本史特論B	小林 准士							
L546002	東洋史特論A	丸橋 充拓	○	◎	◎	○			
	東洋史特論B	佐々木 愛							
L546302	西洋史特論A	渋谷 聡	◎	◎	○		○		
	西洋史特論B								
	西洋史特論C	非常勤講師							
	現代史特論A	板垣 貴志							
	現代史特論B	非常勤講師							
L546822	歴史学史料演習A	大日方 克己	○	◎	◎				
L546911	歴史学史料演習B	小林 准士	○	△	◎				
L546912	歴史学史料演習B	小林 准士	○	△	◎				
L547011	歴史学史料演習C	丸橋 充拓	○	◎	◎				△
L547012	歴史学史料演習C	丸橋 充拓	○	◎	◎				△
L547111	歴史学史料演習D	佐々木 愛							
L547112	歴史学史料演習D	佐々木 愛							
L547221	歴史学史料演習E	渋谷 聡	◎	◎	○				
L547222	歴史学史料演習E	渋谷 聡	◎	◎	○				
L547231	歴史学史料演習E	渋谷 聡	◎	◎	○				
L547232	歴史学史料演習E	渋谷 聡	◎	◎	○				
L547321	歴史学史料演習F	清原 和之	◎	○	○		○		
L547322	歴史学史料演習F	清原 和之	◎	○	○		○		
L547331	歴史学史料演習F	清原 和之	◎	○	○		○		
L547332	歴史学史料演習F	清原 和之	◎	○	○		○		
L547411	歴史学史料演習G	板垣 貴志							
L547412	歴史学史料演習G	板垣 貴志							
L547511	歴史学専修演習	歴史学全教員	○	◎	◎	◎	◎		△
L547512	歴史学専修演習	歴史学全教員	○	◎	◎	◎	◎		△
L547601	日本史演習I	小林 准士	○	○	◎	△			
L547602	日本史演習I	小林 准士	○	○	◎	△			
L547701	日本史演習II	小林 准士	○	◎	◎	△			
L547702	日本史演習II	小林 准士	○	◎	◎	△			
L547801	東洋史演習I	佐々木 愛							
L547802	東洋史演習I	佐々木 愛							
L547901	東洋史演習II	佐々木 愛							
L547902	東洋史演習II	佐々木 愛							
L548001	西洋史演習I	渋谷 聡	◎	◎	◎				
L548002	西洋史演習I	渋谷 聡	◎	◎	○				
L548101	西洋史演習II	渋谷 聡	◎	◎	○				
L548102	西洋史演習II	渋谷 聡	◎	◎	○				
L548201	現代史演習I	板垣 貴志							
L548202	現代史演習I	板垣 貴志							
L548301	現代史演習II	板垣 貴志							
L548302	現代史演習II	板垣 貴志							
	特別研究(日本史)	小林 准士	◎	◎	○				
	特別研究(東洋史)	佐々木 愛							
	特別研究(西洋史)	渋谷 聡	◎	◎	○				
	特別研究(現代史)	板垣 貴志							
L548501	現代史概説	板垣 貴志							
L548602	歴史と考古入門セミナー	歴史と考古学全教員							
L550102	考古学概論II	大橋 泰夫	◎	◎	○				
	考古学特論A								
L550312	考古学特論B	岩本 崇	◎	◎	○		◎	○	◎
L550412	考古学特論C	大橋 泰夫	◎	◎	○				
	考古学特論D	平郡 達哉							
	考古学特論E								
L550603	考古学実習II	考古学全教員	○	◎		◎		○	
L550703	考古学演習I	考古学全教員	○		◎	◎	○		○
L550803	考古学演習II	考古学全教員	○	○	◎	◎	○		○
L550903	考古学演習III	考古学全教員	○	○	◎	◎	○	○	○
	特別研究(考古学)	考古学全教員	○	○	◎	◎	○	○	○
	古文書学実習I	小林 准士		○		○		◎	
	古文書学実習II	板垣 貴志							
L551603	考古学技術実習I	考古学全教員		○		◎			◎
L551703	考古学技術実習II	考古学全教員		○		◎			◎
	考古学特論D	平郡 達哉							

社会文化学科			社会文化学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー(DP)) ◎=DP達成のために、特に重要な事項 ○=DP達成のために、重要な事項 △=DP達成のために、望ましい項目 あてはまらない項目は空欄						
時間割コード	科目名	担当教員	1	2	3	4	5	6	7
			人間と社会に関わる諸問題について、人文・社会諸科学の研究方法に基づいて、論理的に考察することができる。	課題解決に必要な情報を的確に判断し、収集・分析することができる。	自らの考えを、文章や口頭で論理的・効果的に表現することができる。	他者と円滑に対話しながら、現代的な問題解決のために協働し、主体的・積極的に社会に参画することができる。	現代社会で生起する多様な問題に対し、グローバルとローカルそして過去と現在の関係性を意識しつつ、高度な日本語・外国語運用能力をもって取り組むことができる。	現代社会の課題を発見・探究し、人文・社会科学的な学修成果・研究成果を活かして新しい視点や発想で解決にあたることができる。	人文・社会科学に関する高度な専門性を有しつつ、既存の専門分野の枠組みを超えた先端的な領域に挑戦し続け、実証データに基づく思考力を活かして新たな価値の創造に向かうことができる。
	考古学特論E								
L580101	心理学概論	源 健宏							
L800013	異文化交流 I	法学分野教員							
L800023	異文化交流 II	関 耕平					○	◎	
L800033	異文化交流 III	片岡, メンキン			○	◎	◎	○	
L800143	異文化交流 IV	山崎 泰孝			○	◎	◎	○	
L900013	就業体験								
L901101	キャリアプランニング	大橋 泰夫	○	○		◎			